

言葉の特徴や使い方に関する事項

漢字、修しよく語

年 組 番 名 前

一 次の(1)から(4)の——部のひらがなを漢字で書きましょう。また、——部と同じ漢字を——部に使って書く文として最も適切なものを、あとのアからウまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

(1) 本の目じを見て、調べる。	目 次	(2) めずらしい植物をさい集する。	採 集
ア じ務室に行く。		ア 意見をさい用する。	
イ 集中をじ続させる。	記号 ウ	イ 国さい会議に出席する。	記号 ア
ウ じ回のクラブが楽しみだ。		ウ 試合をさい開する。	
(3) ロボットをせい造する。	製 造	(4) 必要なせつ備を用意する。	設 備
ア 体育館にせい列する。		ア やく目を果たす。	
イ せい服のデザインを考える。	記号 ウ	イ 委員会をもうける。	記号 イ
ウ 新せい品を試す。		ウ ボールをなげる。	

二 次の——部のひらがなを漢字に直して、下のらんにていねいに書きましょう。

※まちがえた漢字をもう一度練習しましょう。

(1)	いろいろな国の文化にかんしんを持つ。	関心	
(2)	天候のことが話題になるきかいが増えた。	機会	
(3)	せつ極的に参加する。	積	
(4)	四年生が参加のたいしょうである。	対象	
(5)	外がひじょうに寒い。	非常	

三 次の文の——部はどの言葉をくわしくしてありますか。適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を○で囲みましょう。

このまま道なりに進むと海に出ます。

ア 道なりに **イ** 進むと ウ 海に エ 出ます